

7 故障かな?と思ったら

症状	内容	対処方法
SDカードを認識しない/記録が停止する	● 「SDカードをフォーマットしてください」と画面表示が出る。	カードを本体に挿入してください。 SDカードをフォーマットしてください。(P.3)
	● SDカードは消耗品です。一定期間が過ぎるとメモリーセクターの一部が損傷し正常な記録ができない可能性があります。microSDカードによる不具合が発生した場合は、新しい microSD カードと交換してください。市販の microSD カードは、用途により仕様が異なるため、動作を一切保証しておりません。	—
電源が入らない 画面が真黒電源が落ちる 再起動を繰り返す	● カー電源コードの接続配線を確認してください。	—
	● SDカードをフォーマットしてください。(P.3)	—
	● SDカードを抜いて電源を入れる。	改善した場合、SDカードを交換してください。
電波干渉によってナビの TV画面が1セグに切り替わる もしくは映らない	● TVのアンテナコードと本製品のケーブルをまとめている。	配線は別にまとめてください。
	● 配線を含む本製品とフィルムアンテナの位置が近い。 ● ナビ本体や他の機器に本製品のケーブルをまとめている。	離して取り付けをお願いいたします。 離して取り付けをお願いいたします。
画面にドット欠損(輝点・減点)がある	● 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります。	—
日時表示が違う	● 内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっている。	本体に電源が入った状態であれば充電してから日時を再設定してください。 充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命ですので交換が必要になります。
後方カメラが映らない	● 接続コードがしっかり接続されていない。	接続コードを確認してください。
	● 表示がフロントカメラになっている。	切り替えボタンでリアカメラに切り替えてください。(P.8)
操作を受け付けない	● SDカードが壊れている可能性があります。	SDカードを抜いて動作をする場合には、SDカードが壊れている可能性があります。

モナタロウ ドライブレコーダー 前後 2カメラ SDカード付き

注文コード：71457953

このたびは、ドライブレコーダー 前後 2カメラ SDカード付きをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書を必ずお読みのうえ、正しく安全にご使用ください。また、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

目次

1 安全にお使いいただくために	2
■ 免責について	2
■ 個人情報の保護について	2
■ バックアップ電源について	3
■ microSD/SDHC カードに関する注意	3
■ LED 式信号機について	3
■ パソコンで映像の再生をする場合の動作環境	3
■ もしも事故が起きてしまったら	3
2 準備する	4
■ 同梱品を確認する	4
■ 各部の名称	4
■ はじめにすること	5
■ 車へ取り付ける	6
3 撮る	8
■ 録画を開始する	8
■ G センサーによる衝撃を検知した場合	9
■ 手動によるファイルのロック	9
■ 録画を停止する	9
■ 初期化 (リセット)	9
4 見る	10
■ 本体で見る	10
■ パソコンで見る	11
5 各種設定	12
■ 設定項目	12
6 記録時間の目安	13
7 故障かな?と思ったら	14

1 安全にお使いいただくために

ここに書かれた注意事項は、人体への危害や財産への損害を未然に防止するための内容です。いずれも安全にお使いいただくためには重要ですので、必ずお守りください。


警告 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「死亡または重傷を負うおそれがある」内容です。


注意 この表示は、注意事項を無視して誤った使い方をした場合に、「ケガや損害を負うこと、製品の破損やそれに伴う財産の損害が発生するおそれがある」内容です。


ご使用上の注意


【はじめに】 誤った使用方法により人的傷害や製品の破損、その他の物的損害が生じた場合、一切の補償、責任を負いません。また、本製品の分解・改造・修理は、決して行わないでください。

警告


 ● 運転の妨げにならない場所に取り付ける
本製品は、運転の妨げにならないように、取り付けてください。また、取り付ける際に、本製品が落下しないように十分注意ください。万が一落下した場合でも、運転の支障にならない場所をお選びください。


 ● 電源コードを傷つけない
電源コードを傷つけないよう、火災や感電の原因となります。


 ● 本製品を濡らさない
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電、故障の原因となります。


 ● 車を運転中に本製品を操作しない
車を運転中に本製品を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。


注意


 ● 衝撃や強い振動を加えない
使用している部品が壊れ故障の原因になります。


 ● 使用温度範囲内でご使用する
本製品の温度保証範囲以外で使用するると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。特に夏期や直射日光に当たると予想以上に高温になりますので十分注意ください。


 ● 高温時の取り扱いに注意する
本製品に直射日光が当たっている状態など本製品がかなり高温になっている時がありますので触れる際には、十分に注意ください。


 ● ケースは絶対にあけないでください
本製品は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障や感電の原因となります。

 ● 内部に異物を入れない
内部に異物が入ると火災や感電の原因となります。

 ● 異常がある時はすぐ使用をやめる
発熱、発煙、異臭を感じた時は、直ちに使用を中止して、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。そのまま使用されますと火災や感電の原因となります。お客様で自身の修理は絶対に避けてください。

 ● お手入れの際、電源プラグを抜く
お手入れの際は必ず本製品の電源を切り、カー電源コードを車のシガーライターソケットから抜いてください。また、お手入れには柔らかい布またはティッシュペーパーを使用し、シンナー、ベンジン、アルコール類を使用しないでください。使用するとケースが変形するおそれがあります。

 ● 日本国内で使用する
本製品の仕様は日本国内向けとなっています。

 ● 取り付け場所を十分に考慮する
(P.6)

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本製品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. お客様による映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
5. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ 個人情報の保護について

本製品を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

■ バックアップ電源について

● スーパーキャパシタ
衝撃によってシガー電源が切れた時でも、内蔵のバックアップ電源で録音中のファイルを正常に保存します。バックアップ電源は耐久性に優れたスーパーキャパシタを採用。

● 時計用バックアップ充電電池
初めて使用する場合や1週間程度使用されない場合、本体内蔵の充電電池を30分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。
※ 内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

■ microSD/SDHC カードに関する注意

本説明書では、特にことわりがない場合、「microSD/SDHCカード」を「SDカード」と表記させていただきます。
※ SDカードは消耗品です。
SDカードは書き換え回数に上限があり、書き換えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。
※ SDカードは消耗品につき初期故障（使用開始後10日間）のみ保証します。
※ 本製品以外で使用したSDカードを使用する場合は、必ずSDアソシエーションのSDフォーマッターでフォーマットを行ってください。（P.3参照）ただし、SDカードによってはフォーマットを行ってもエラーが出る場合がありますが、当社では一切の責任を負いません。

重要！

SDカードは1〜2週間を目安に定期的なフォーマットを実施してください。
フォーマットを全くしないでご使用し、事故映像などが記録されない場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※ SDカードが寿命を迎えている場合または正常に記録されない場合の動作例

- 記録が開始されない
- SDカードが挿入されていても「カードなし」と表示される

フォーマットをしても異常が起こる、フォーマットできないなどの症状が出た場合は、SDカードを交換してください。SDカードの寿命は概ね3か月から1年程度です。（ドライブレコーダーのご使用状況（ご使用時間）によりSDカードの寿命は変動します。また1年を経過したものはたとえ問題が無くても交換されることをおすすめします。

▼ フォーマットの方法

- パソコンをお持ちの方
SDカードをパソコンで読み取れるかどうか・動画の再生ができるかどうかを確認しフォーマットを行ってください。
SDカードのフォーマットは、SDアソシエーションのウェブサイトからSDフォーマッターをダウンロード・インストールして行ってください。
- パソコンをお持ちでない方
ドライブレコーダーの再生モードで記録した映像を再生して問題が無いことを確認してください。
その後、本体のメニューにフォーマットの項目がありますので、フォーマットを行ってください。（P.5参照）

■ LED 式信号機について

ドライブレコーダーの録画映像でLED式信号機が点滅したり、消灯しているように見える場合があります。LED式信号機は高速で点滅しているため、カメラの撮影タイミングと、LEDの消灯タイミングが同調したことで起こります。

■ パソコンで映像の再生をする場合の動作環境

- Windows 8.1/10(32/64bit)がインストールされたパソコン。
- Windows Media PlayerなどのAVI(MJPEG)形式に対応した再生ソフト(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- USB2.0インターフェースもしくはmicroSD/SDHCカードリーダーを備えていること。
- それぞれのOSの推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

■ もしも事故が起きてしまったら・・・

記録を停止しない限り、撮影を続けるため事故時の映像が上書きされてしまう場合があります。必ず撮影を停止し、本製品からSDカードを取り出してケースなどで保護して保管してください。

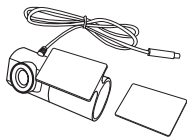
2 準備する

■ 同梱品を確認する

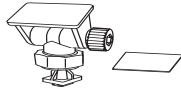
お買い上げいただいた製品は次の品目から構成されています。内容をご確認ください。



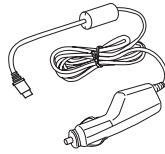
フロントカメラ (1台)



リアカメラ(ケーブル長約0.5m) (1台)
リアカメラ固定用両面テープ (1枚)



フロントカメラ取り付けステー (1個)
ステー用両面テープ (1枚)



カー電源コード(約3.5m) (1本)



リアカメラ接続ケーブル
(ケーブル長約5.4m)

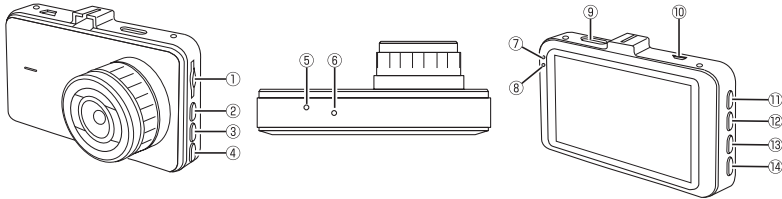
取扱説明書(本冊子)

8GB microSDHCカード
(1枚)

※ 本文のイラストはイメージです。実際と異なる場合があります。

■ 各部の名称

▼ フロントカメラ部



① microSD/SDHCカード挿入部
microSD/SDHCカードを挿入する。
(最大32GB)

② ▲アップボタン
設定項目/設定値の選択。
録画中/録画停止時:短く押す度に
フロントカメラ、リアカメラの
画面切替。

③ メニューボタン
設定画面のON/OFF。

④ ▼ダウンボタン
設定項目/設定値の選択。
録画中/録画停止時:短く押す度に
音声録音のON/OFF切替。

⑤ リセットホール
本製品が正常に動作しない場合や
フリーズした場合に初期化を
行います。(P.9参照)

⑥ マイク
⑦ 通電ランプ(青)
通電時点灯。

⑧ 録画ランプ(橙)
録画中:ゆっくり点滅。
録画停止中/再生中:点灯。

⑨ リアカメラ接続端子
リアカメラを接続します。

⑩ 電源端子 (miniUSB) 端子
電源入力はDC5Vです。
必ず付属のカー電源コードを接続して
ください。

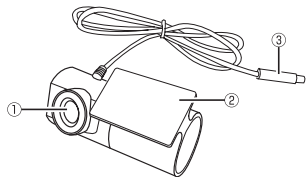
⑪ OKボタン
録画の停止/開始。再生の開始/停止。
設定時の確定。

⑫ モードボタン
録画停止中:動画/再生モードの切替。

⑬ ロックファイルボタン
録画中:短押しで手動ロックファイルの生成。

⑭ 電源ボタン
2秒以上の長押しで電源OFF。
短押しでON。

▼ リアカメラ部



① カメラレンズ

② 取り付けステー部
360度回転可能

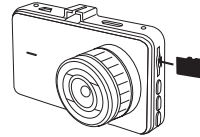
③ 接続プラグ
リアカメラ接続ケーブルのコネクター部と接続します。

ご注意:本製品は防水仕様ではありません。
車外の取り付けはしないでください。

■ はじめにすること

1. SD カードを挿入する

フロントカメラ部のSDカード挿入部にSDカードのラベル面をレンズ側にして“カチツ”と音がするまで挿入します。必ずカードの向きに注意し無理に入れないでください。また、カードを抜く場合にも同様に“カチツ”と音がするまで押しから引き抜いてください。



▲ 注意

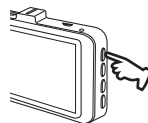
- SDカードを抜く場合は本製品の電源が切れていること、または録画が停止していることを確認してから行ってください。SDカード破損の原因となることがあります。
- SDカードは消耗品です。ドライブレコーダーでご利用の場合耐用年数は3か月から1年です。3か月から1年毎に新しいmicroSDHCカードと交換することをおすすめします。
- SDカードは書き換え回数に上限があり、書き換えを繰り返すことで正常に保存ができなくなり、データを破損して読み込みもできなくなります。1～2週間を目安に本体またはパソコンでフォーマットを行ってください。
- 同梱以外のSDカードを使用する場合、必ずフォーマットをしてください。また、SDカードメーカーによっては性能を発揮できない場合がありますので、あらかじめテスト撮影を行ってください。(推奨microSDHCカード:4GB～32GBのClass 10以上)
- 小さなお子様の手の届かないところで保管してください。

2. 本体の電源を入れて内蔵電池を充電する

初めて使用する場合や1週間程度使用されない場合、本体内蔵の充電電池を30分程度充電してください。充電しても日時が初期値に戻ってしまう場合は内蔵充電電池の寿命です。
※ 保証期間終了後の内蔵充電電池の交換は有料です。
※ 内蔵充電電池の寿命は使用環境によって変化します。

車で充電する

- 1 SDカードを挿入する
- 2 付属のカー電源コードで本体と車のシガーソケットを接続する (P.8参照)
- 3 車のエンジンをかける
自動的に電源が入り充電が行われます。録画が自動的に始まるので、録画の必要がない場合は、“OK”ボタンを押すと録画が停止します。再度、押すと録画を開始します。



※ 録画中は録画カウンターが赤でカウントが始めます。

※ 充電完了の表示等はありません。



3. SD カードをフォーマットする

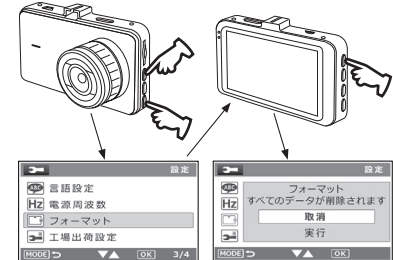
充電が完了したら、SDカードのフォーマットをします。

- 1 録画が停止していることを確認する
録画中の場合は、“OK”ボタンを押して停止してください。

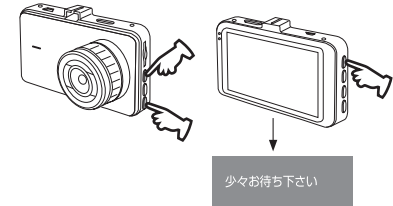
- 2 “メニュー”ボタンを押して設定メニューを表示させる
設定メニュー



- 3 “マ”“△”ボタンで“フォーマット”を選択し、“OK”ボタンを押す
フォーマットの画面が表示されます。



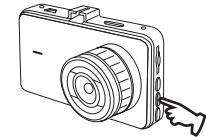
- 4 “マ”“△”ボタンで“実行”を選択し、“OK”ボタンを押す



上記画面が表示され、消えればフォーマット完了です。

- 設定メニュー画面に戻ります。

- 5 “メニュー”ボタンを押して、終了する



- 6 再度録画を開始する場合は、“OK”ボタンを押すか電源を入れ直してください

※ SDカードは定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットをしないと、正常に記録ができなくなる場合があります。(P.3参照)

4. 日時を合わせる

フォーマットが完了したら、日時を合わせます。

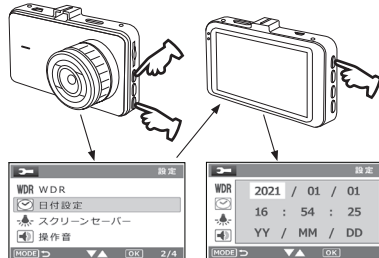
1 録画が停止していることを確認する

録画中の場合は、“OK”ボタンを押して停止してください。

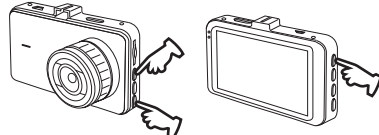
2 “メニュー”ボタンを押して設定メニューを表示させる



3 “▽”“△”ボタンで“日付設定”を選択し、“OK”ボタンを押す
日付設定設定画面になります。

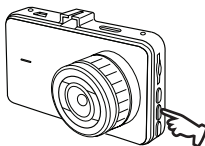


4 年を“▽”“△”ボタンで合わせたら、“OK”ボタンで項目を移動させる

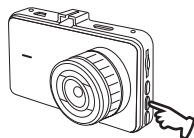


5 同様に月、日、時刻、表示形式を設定し、“メニュー”ボタンを押して設定を確定します

※表示形式は
YY/MM/DD(年/月/日)、
MM/DD/YY(年/月/日)、
DD/MM/YY(日/月/年)を
選択できます。



6 “メニュー”ボタンを押して、終了する
※ 正しく設定されているか日時表示を確認してください。



7 再度録画を開始する場合は、“OK”ボタンを押すか電源を入れ直してください

■ 車へ取り付けける

取り付け上の注意

本製品は道路運送車両法・保安基準第29条の前面ガラス装着規制対象外です。

ただし、設置場所はフロントウィンドウの開口部上端から下方向に1/5以内の場所に限ります。装着後運転の妨げにならないか、バックミラーの操作の妨げにならないかなど十分に確認してから使用してください。

リアカメラ部は取り付け場所に制限はありませんが、必ず車内に取り付けしてください。

■ 車を平らで安全な場所に駐車して作業をしてください。

■ 配線後のコードが運転の支障にならないように固定してください。

■ 道路運送車両法・保安基準に適合するように、フロントガラスに取り付けてください。

■ 取り付け位置はフロントウィンドウの開口部上端から上下方向に1/5以内の場所、もしくは運転席側から見てルームミラーに隠れる場所に取り付けをしてください。

■ レンズ部分がワイパーでふき取れる部分になる位置になるよう取り付けください。

■ 点検シールや車検標章などと重ならないようにしてください。

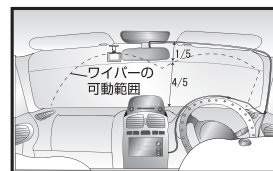
■ ステアを取り付ける際、接着面の汚れや湿気をよく取り除いてから行ってください。

■ あらかじめモニターで撮影範囲を確認の上、取り付けしてください。

■ ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。

■ ルームミラーの操作の妨げにならない位置に取り付けてください。

■ 前方がしっかりと見える場所に取り付けてください。



中心より少し左側 水平より少し下向き



＜トラックの場合の取り付け参考例＞

⚠注意

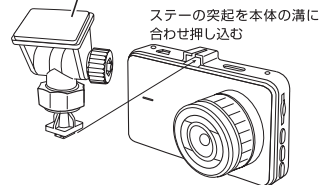
● カーナビゲーション、ETC、地デジチューナーやそれらのアンテナなど電波を受信する機器から離して取り付けてください。

1. フロントカメラ部の取り付け

1 フロントカメラ部の取り付けステー装着部の突起部にステーの溝を合わせ押し込む

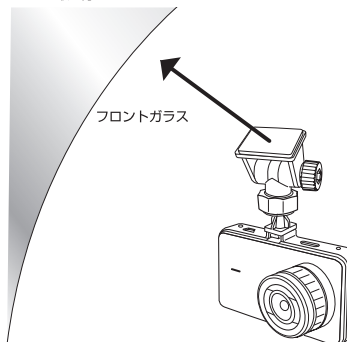
※ 付属のステー用両面テープを貼ります。

付属のステー用両面テープ

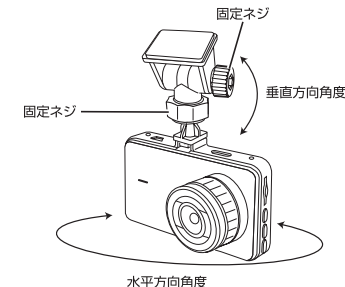


2 両面テープのはくり紙を剥がす

3 車両の中央部から助手席側の運転に妨げにならない場所をあらかじめ確認して、レンズを進行方向に向けてフロントガラスに取り付ける

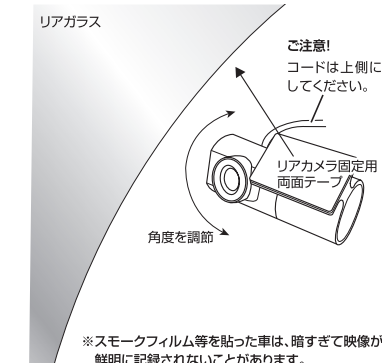


4 水平方向、垂直方向の角度を合わせる
角度を合わせたら、2箇所の固定ネジでしっかりと固定します。



2. リアカメラ部の取り付け

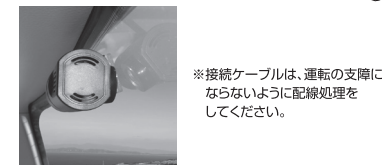
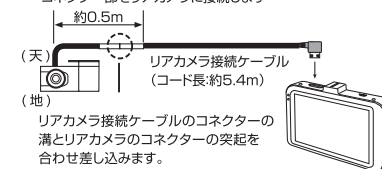
1 リアカメラの取り付けステー部に付属のリアカメラ固定用両面テープを貼り、車内のリアガラスに貼ります



※スモークフィルム等を貼った車は、暗すぎて映像が鮮明に記録されないことがあります。

2 レンズ部を回して角度を調節します
360度回転できます。

3 リアカメラ接続ケーブルのプラグをフロントカメラに接続し、コネクタ部をリアカメラに接続します



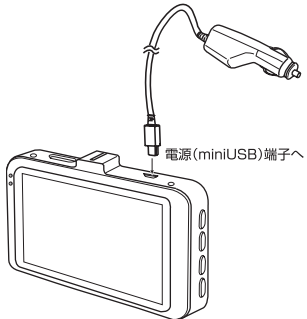
※接続ケーブルは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

取り付けイメージ

3. カー電源コードの接続

- 1 付属のカー電源コードのプラグを本体の電源(miniUSB)端子に差し込みます。
- 2 カー電源コードの電源プラグを車のシガーライターソケットに差し込みます。
※ 電源コードは、運転の支障にならないように配線処理をしてください。

車のシガーライターソケットへ接続



⚠ 注意

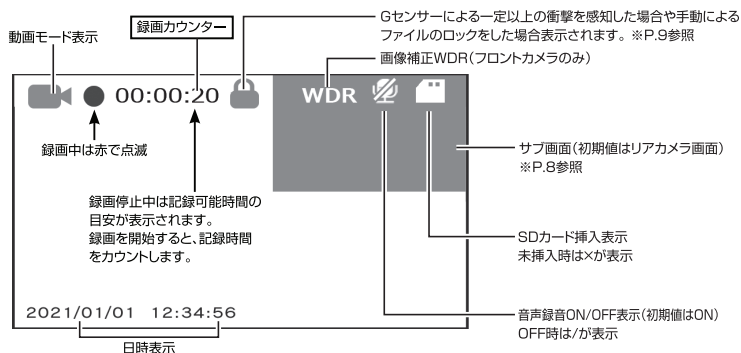
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますので、よく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。また、付属のカー電源コードを切断して車両記録と直結しないでください。

3 撮る

■ 録画を開始する

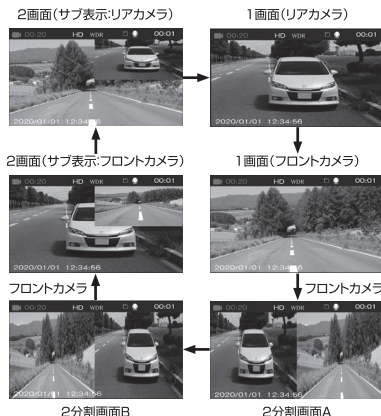
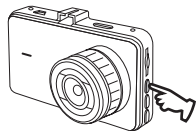
- 1 SDカードを挿入し、車のエンジンをかける
外部からの電源が供給されると、自動的に電源が入り録画が開始されます。録画が開始されると、本体の録画ランプが橙で点滅し、画面左上の録画カウンターが赤でカウントを始めます。3分ごとに別のファイル名で保存されます。
※ SDカードを挿入しないで電源を入れると録画は開始しません。“カードなし”のメッセージが表示されます。
SDカードを挿入し、“OK”ボタンを押すと録画を開始します。

録画面面



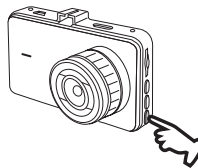
4. ボタン操作によるフロントカメラ/リアカメラの切り替え方法

ボタン操作でフロントカメラとリアカメラの表示を切り替えることができます。
録画中/録画停止時に“△”ボタンを押す度に切り替わります。



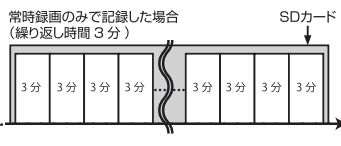
▼ 音声録音の ON/OFF

録画中/録画停止中に“▽”ボタンを押す度に音声録音のON/OFFの設定ができます。各種設定の「音声録音」でも設定できます。



2. 常時録画

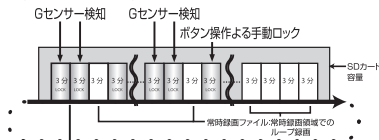
常時録画は録画繰り返し時間ごとにファイルを作成し、連続撮影をします。
ファイルがいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。



2. イベント録画(Gセンサー/手動)

Gセンサーの検知またはロックファイルボタン操作をすると、現在録画中のファイルをロックして、ロックファイルとして保護します。Gセンサーの感度設定は“各種設定”のGセンサー(P.12)で設定できます。常時録画ファイルとロックファイルが混在して生成されると、最終的にSDカード容量の約55%が上書きされないロックファイルとして保存されます。ロックファイル保存領域を超えるとロックファイル領域内で古いファイルを削除して、上書き保存されます。

常時録画ファイルとロックファイルの混在で録画した場合
(繰り返し時間3分)



※保護できるロックファイルの最大はSDカード容量の約55%までです。
(ロックファイル領域)
55%を超えた場合は領域の古いファイルから上書き保存されます。
(ロックファイル領域でのループ録画)

重要!

ロックファイルの領域(約55%)を超えた場合は、古いロックファイルから上書き保存されます。
上書きされないようにするには、パソコンなどに保存しておくことをおすすめします。

⚠ 注意

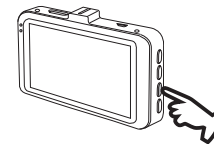
- 大切なデータがある場合はパソコンなどにあらかじめ保存してください。

■ Gセンサーによる衝撃を検知した場合

※ 衝撃を検知すると、画面上部に鍵マーク(🔒)が表示されます。

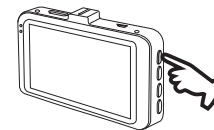
■ 手動によるファイルのロック

※ 常時録画中に“ロックファイルボタン”を押すと、画面上部に鍵マーク(🔒)が表示されます。



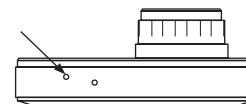
■ 録画を停止する

- 1 “OK”ボタンを押す
エンジンを切るか、“OK”ボタンを押すと録画が停止します。“OK”ボタンで録画を停止した場合は、再度、“OK”ボタンを押すと録画を開始します。



■ 初期化(リセット)

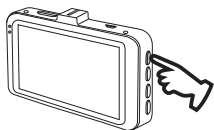
本製品が正常に動作しない場合やフリーズした場合には初期化を行います。本体下面のリセットホールのリセットスイッチをクリップの先などで押してください。
リセットをすると、正しく電源が再起動されます。
初期化を行っても問題が解決されない場合は、SDカードを抜いて再度リセットをして確認します。
SDカードを抜いて正常に動作する場合はパソコンなどでSDカードをフォーマットしてください。



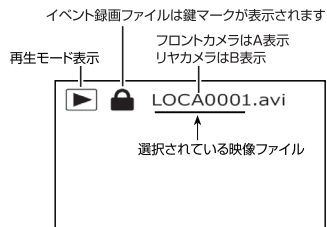
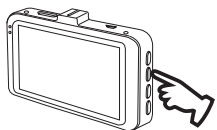
4 見る

■ 本体で見る

1 録画中は、“OK”ボタンを押して録画を停止する

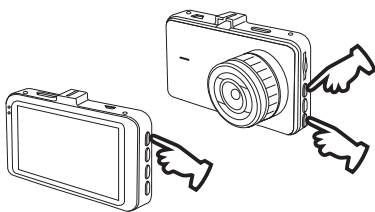


2 “モード”ボタンを押して再生モード画面にする



3 再生したいファイルを“▽”“△”ボタンで選択し、“OK”ボタンを押す

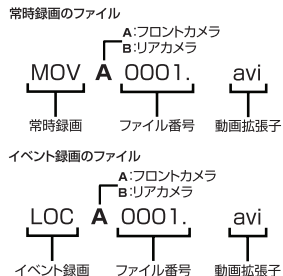
※ フロントカメラとリアカメラのファイル名は同じですが、画面上部の表示が“A”ならフロントカメラ、“B”ならリアカメラの選択となります。



※ 選択後“OK”ボタンを押すと、録画の再生を開始します。再生を一時停止する時は、“OK”ボタンを押してください。再度、再生する場合は“OK”ボタンを押してください。

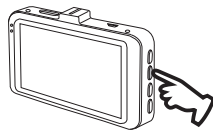
▼ 再生ファイルについて

映像、画像を記録すると、下記ファイル名で保存されます。イベント録画は画面上部に“鍵”マークが表示されます。



▼ 再生の終了

再生モード画面で再生停止中に“モード”ボタンを押して、動画モードにします。



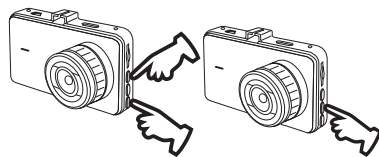
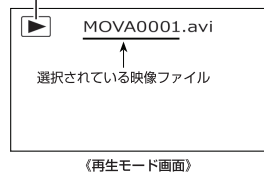
▼ 録画の開始

動画モード時に“OK”ボタンを押すか、電源を入れ直してください。

▼ ファイルの削除

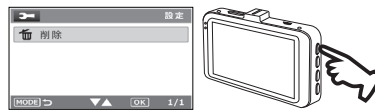
本体で不要なファイルを削除することができます。パソコンでも削除は可能です。

1 再生モード画面で削除したいファイルを選択し、“メニュー”ボタンを押す
再生モード表示



2 削除選択の画面が表示されます

“削除”または“全て削除”を選択し、“OK”ボタンを押す。
削除画面が表示されます。



3 削除画面で“実行”を選択し、“OK”ボタンを押す



少々お待ち下さい ← 左記画面が表示され、消えれば削除完了です。

⚠ 注意

● イベント録画のロックファイルは削除できません。パソコンで削除するか、フォーマットを行ってください。ただし、フォーマットを行うと全てのファイルが消去されます。

4 “メニュー”ボタンを押すと再生モード画面に戻ります。

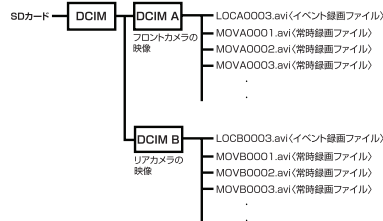
■ パソコンで見る

▼ パソコンの動作環境

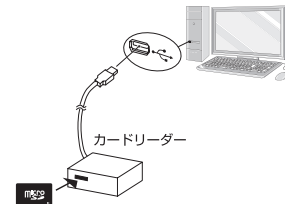
- Windows 8.1/10(32/64bit)がインストールされたパソコン。
- Windows Media PlayerなどのAVI(MJPG)動画再生ソフトがインストールされていること。(再生ソフトに関するお問い合わせはお受けできません)
- USB2.0インターフェースもしくはmicroSD/SDHCカードリーダーを備えていること。
- それぞれのOSの推奨環境以上で動画再生でも十分な能力を持っていること。

▼ フォルダ構成

映像が記録されているSDカード内のフォルダとファイルの構成は下記のとおりです。



1 カードリーダーをパソコンに接続する



※ microSD/SDHCを直接接続できるパソコンの場合は、カードリーダーは必要ありません。

2 SDカードをカードリーダーに挿入する

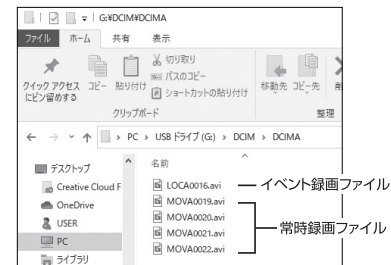
3 DCIMフォルダがあるリムーバブルディスクを開く



4 “DCIM A”または“DCIM B”フォルダを開く
録画ファイルが表示されます。

※ 常時録画ファイルを開くとWindows Media Playerなどの動画再生ソフトが立ち上がり、動画の再生が始まります。

※ イベント録画ファイルを開くとGセンサーまたは手動によりロックされた録画ファイルの再生が始まります。



再生時の記録動画について

本製品はカメラでの撮影映像をMJPEGコーデックによりJPEG画像をブロック(正方形)に分割してそれぞれに対して圧縮処理を行って動画を保存しています。パソコンなどの大きな画面で動画を再生した場合、フロント映像(1280×720)よりリア映像(640×480)のほうが解像度が小さいため、同じ画面サイズで再生した場合に画面に現れる正方形の1ブロックの大きさがリア映像のほうが大きく見える場合があります。またSDカードの記録状態および再生環境(パソコン)により動画再生時に瞬間的にカクつき(不連続)が発生場合がありますが異常ではありません。

5 各種設定

各種設定を行う場合は、“OK”ボタンを押して録画を停止してください。

▼ 設定手順

1 動画モードになっていることを確認する

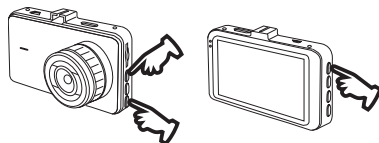
動画モードになっていない場合は、“モード”ボタンを押して動画モードにしてください。



2 “メニュー”ボタンを押し、設定メニューを表示させる



3 “▽”“△”ボタンを押し、設定したい項目を選択して“OK”ボタンを押す



4 “▽”“△”ボタンを押し、お好みの設定を選択し“OK”ボタンを押して確定させる

- ※ 確定後は、設定メニューに戻ります。
- ※ 終了する場合は“メニュー”ボタンを押します。
- ※ 録画を開始する場合は、動画モードにして“OK”ボタンを押します。

■ 設定項目

フロントカメラの画像を明るく・暗く

露出補正(フロントカメラ)
露出補正を設定できます。

設定範囲 -2/-1/0/1/2

初期設定:+0.0

画像補正

WDR(フロントカメラ)

WDR:明るさの落差が大きい環境で、白とびや黒つぶれを改善できます。(フロントカメラのみ)

オン	補正をする(初期設定)
オフ	補正をしない

映像と同時に周囲の音を録音

音声録音

映像とともに音声や車の中の音を同時に記録するかどうかを選択できます。

※ 録画中/録画停止中に“▽”ボタンを押すことでも、ON/OFFの切り替えが可能。

オン	音声を記録する(初期設定)
オフ	音声を記録しない

日付、時刻を記録する

日時記録

映像内に日付や時刻を同時に記録することができます。

オン	日時を記録する(初期設定)
オフ	日時を記録しない

Gセンサーによる自動ロックファイル機能

Gセンサー

Gセンサーによるロックファイル機能は、事故や衝突など一定以上の衝撃が加わると録画中のファイルが保護される機能です。Gセンサーの感度は3段階調整できます。

※ SDカードの容量の約55%を超えると古い保護ファイルから上書き保存されます。

※ 衝撃の度合いや方向によってはGセンサー設定値より一定以下の場合、ロックがきかない場合があります。

高感度	
中感度	(初期設定)
低感度	
オフ	Gセンサーを使用しない

操作音を ON/OFF する

操作音

ボタンを操作した時に鳴る操作音のON/OFFを設定します。

オン	操作音を鳴らす(初期設定)
オフ	操作音を鳴らさない

日付と時刻を設定する

日付設定

映像に記録する日時の設定をします。(P.6参照)

言語を選択

Language

メニューや警告などの表示言語を選択できます。

選択可能な言語は日本語(初期設定)とEnglish(英語)です。

蛍光灯のチラツキを抑える

電源周波数

蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。東日本では50Hz、西日本では60Hzを選択します。

50Hz	東日本地域(初期設定)
60Hz	西日本地域

スクリーンセーブ

スクリーンセーブ

3分経過するとLCDのバックライトが消えます。

オフ	バックライトを消さない(初期設定)
3分	3分後にバックライトを消す

※ スクリーンセーブ動作中に何れかのボタンを押すとバックライトが点灯します。再び、設定時間になるとバックライトが消えます。

※ 電源ランプ、録画ランプは点灯/点滅します。

SDカードを初期化する

フォーマット

SDカードの初期化を行います。SDカードを初期化すると、記録したデータ(ロックファイルを含みます)は全て消去されます。必要なデータは初期化する前にあらかじめパソコンなどに保存しておいてください。(P.11参照)

取消
実行

設定を工場出荷状態に戻す

デフォルト設定

本製品の設定を工場出荷状態に戻します。

出荷状態に戻す時にはメニュー選択後「実行」を選択してください。

取消
実行

ソフトウェアのバージョンを確認

バージョン

本製品ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

6 記録時間の目安

SDカード容量	4GB	8GB	16GB	32GB
	20分	45分	90分	180分

※ 記録時間は目安であり、ご使用の環境、映像の内容などによって大きく変わります。

※ SDカードの容量がいっぱいになると、古いファイルを削除して録画を繰り返していきます。